

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年05月25日

1 事務事業の現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	455	友好都市議員研修事業							
	この事務事業の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	広域交流								
	主管課名		議事課			課長名	加藤 陽介					
	この事務事業の開始時期		平成13(2001)年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	友好都市(北海道士別市・長野県木曾町)を議員が訪問することにより、自己の政策形成能力を養い、市政の施策に寄与するとともに、相互の交流を図ることを目的とする。 「SDGsの取り組み:17」					友好都市(士別市・木曾町)を訪問し相互の交流を図ることは、両市町の友好関係を維持するために必要である。 木曾町:全議員対象に改選年に開催、日帰り。 士別市:未訪問議員対象に改選翌年に開催(議員在任期間中に1回参加)、2泊3日。						
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			令和2(2020)年度の士別市交流(副議長、未訪問議員)が新型コロナウイルスの影響によりすべて中止となり、令和3(2021)年度も中止となったため、令和4(2022)年度に実施した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
変 化 内 容	目的が相互交流だけでなく、周辺市町村を含めた研修に重点が変化してきた				名称		単位					
					①	士別市・木曾町を訪問した延べ議員数		人				
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 士別市・木曾町未訪問の議員					(2)対象指標(対象の大きさを表す指標)							
					名称		単位					
					①	士別市未訪問の議員数		人				
					②	木曾町未訪問の議員数		人				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 士別市、木曾町との友好を図る					(3)成果指標(目的の達成度を示す指標)							
					名称		単位					
					①	士別市、木曾町を訪問した議員数		人				
					②							
結果(上位基本事業の意図) 自主的な交流活動をしてもらう					(4)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)							
					名称		単位					
					①	友好都市交流が重要と答えた人の割合		%				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R3年度実績値	R4年度計画値	R4年度実績値	R5年度計画値	R6年度目標値	R7年度目標値	R8年度目標値			
(1)の活動指標		① 人	0	5	5	21	10	1	1			
		②										
(2)の対象指標		① 人	4	4	4	9	9	0	0			
		② 人	0	0		20	0	0	0			
(3)の成果指標		① 人	0	1	4	21	10	1	1			
		②										
(4)の結果の成果指標		① %	51	56	58	60	60	60	60			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	01	項	01	目	01
コスト		年度	R3年度実績値	R4年度計画値	R4年度実績値	R5年度計画値	R6年度目標値	R7年度目標値	R8年度目標値			
事業費(決算又は予算額)A		単位	0	821	541	363	1,631	148	148			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	0	821	541	363	1,631	148	148		
人件費B		千円	32.6	543	543	543	543	543	543			
正職員従事時間×人数		時間×人	3×3	50×3	50×3	50×3	50×3	50×3	50×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	32.6	1,364	1,084	906	2,174	691	691			
単位あたりコスト		千円/人	8.1	341	271	100.7	241.6	0	0			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/人	0	0	0	45.3	0	0	0			

事務事業名	No.	455	友好都市議員研修事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	コロナによる事業中止が続いたが、令和4(2022)年度は実施することができ議員として見識を深めることができた。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す(拡大・縮小)必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	士別市・木曾町未訪問の議員という対象が変わらないため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す(目的の追加・拡充又は絞込)必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	議員の自己の政策形成能力を養い、友好都市との関係を維持するために士別市、木曾町との交流を図る必要があるため。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	対象となる議員が決まっているため、成果指標を向上させることができない。	
	目的達成状況	内容	令和4(2022)年度は実施することができ、目的を達成することができた。	
	市関与の必要性(実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 議員の交流事業で友好都市との調整は議会事務局の職員が行うことが合理的と考えるため。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	市の代表である議員が友好都市との交流を図る事業は、類似する事業が無く統合することができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。(仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？)	内容	友好都市(士別市・木曾町)との議会交流が希薄になってしまうため、当事業の事業費を削減することはできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	今後も議員の自己の政策形成能力を養い、士別市、木曾町との交流を図る必要があるため

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	議員からは、この事業は必要であるという意見が出ている。	対応策	事業を継続し、友好都市との交流を図る。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	士別市、木曾町との交流	変更・追加	なし
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後も引き続き研修を実施し、友好都市との交流を深める。			
		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		→ 維持			

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年01月23日

1 事務 事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	251	友好の森維持管理事業							
	この事務事業の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	広域交流								
	主管課名		産業振興課			課長名	原田 久三					
	この事務事業の開始時期		平成13(2001)年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	長野県木曾町三岳地区内にある「みよし市友好の森」の維持管理 友好の森ふれあいツアーを実施 【みよし市友好の森】 ・用地(旧三岳村有林・旧国有林) 378,415㎡ ・森林活用型施設 散策道、管理道路 6,000m、あずま屋 1棟 案内板、啓発用看板 「SDGsの取り組み：2、4、12」					・現状 全地球的な環境問題への対応 水源の実情に対する受益地への期待 ・必要性 水源地の森林環境の保全(枝打ち・除伐・間伐)とその有効活用に努める 次代を担う子ども達の環境体験学習の場として活用						
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			施設の維持管理業務、遊歩道緊急修繕、定期巡回(年8回)、間伐材にて菜箸作成、友好の森ふれあいツアー開催								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)							
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施				名称		単位					
					①	管理用歩道下草刈り延長距離	m					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)							
みよし市友好の森(長野県木曾町三岳地区) 市民					名称		単位					
					①	友好の森面積	ha					
					②	人口	人					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標 (目的の達成度を示す指標)							
水源涵養林としての機能の維持					名称		単位					
					①	友好の森管理されている面積/総面積	%					
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標 (上位基本事業の成果指標)							
自主的な交流活動					名称		単位					
					①	自主的な交流活動と答えた人の割合	%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
(1)の 活動指標		①	m	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550			
		②										
(2)の 対象指標		①	ha	38	38	38	38	38	38			
		②	人	61,236	61,218	61,375	61,656	61,938	62,219	62,500		
(3)の 成果指標		①	%	100	100	100	100	100	100			
		②										
(4)の結果の 成果指標		①	%	0	8.6	0	8.6	8.6	8.6			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	02
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	2,463	5,245	4,283	4,584	6,397	4,568	4,568			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	32	12	32	32	32	32			
	一般財源	千円	2,463	5,213	4,271	4,552	6,365	4,536	4,536			
人件費 B		千円	2,172	2,172	651.6	579.2	651.6	651.6	651.6			
正職員従事時間×人数		時間×人	200×3	200×3	45×4	40×4	45×4	45×4	45×4			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C		千円	4,635	7,417	4,934.6	5,163.2	7,048.6	5,219.6	5,219.6			
単位あたりコスト ①		千円/ha	122	195.2	129.9	135.9	185.5	137.4	137.4			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			

事務事業名	No.	251	友好の森維持管理事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	水源涵養林としての機能を果たしている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象は友好の森であり、見直すことは出来ない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的は水源涵養林としての友好の森の保全であり見直すことは出来ない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	森林保護、環境保全をしていくため、間伐作業の充実を図る。	
	目的達成状況	内容	友好の森の維持管理	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 木曽森林組合に維持管理委託	
効率性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	令和4（2022）年度より友好の森ふれあいツアー事業を統合した。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	令和4（2022）年度より友好の森ふれあいツアー事業を統合した。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	水源涵養林としての友好の森の保全という目的であり、受益者負担の考え方にはそぐわない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	散策路が荒廃し、利用者がほとんどいないと聞く。	対応策	広報、ホームページを活用し、広く市民に利用推進の啓発を行う。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	維持管理事業、橋緊急修繕工事、定期巡回（年8回）、間伐材にて菜箸作成、友好の森ふれあいツアーの開催	変更追加	友好の森ふれあいツアーの内容を一部変更し、木曽おもちゃ美術館を加える。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・森林環境の保全事業と森林有効活用との連携 ・木曽町三岳地区との連携 ・樹木の間伐とその木材の有効活用 ・散策路や橋の老朽化による修繕	
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		→ 維持			

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年01月24日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	407	小学生土別市交流事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	広域交流								
	主管課名		学校教育課			課長名	木戸 貴秀					
	この事務事業の開始時期		平成13(2001)年			事務区分	□法定受託事務 ■自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市友好都市国内交流事業補助金交付要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	土別市へ市内の代表小学生を派遣する。また、土別市の代表小学生を受入る。事業を通じ双方の交流を推進する。 【SDGs取り組み状況：4】					平成12(2000)年10月の三好町と土別市の友好提携を契機として、今後一層の友好関係を深めていくための相互交流の推進を図るため。 子供同士の交流の見直しを図りつつ平成15(2003)年度から学校別研修を取り入れ事業の充実化を図ってきた。応募状況は、過去5年間でみても毎年度100人前後の応募があり、児童からの関心も高い事業となっている。なお、派遣された児童は、土別市での交流活動に意欲的に取り組み、その活動に十分満足している。						
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			令和4(2022)年度は新型コロナウイルス感染症の影響により派遣事業は中止となったが、1月に受入れ事業を実施することができた。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	子ども同士の交流の見直しを図りつつ平成15年度から学校別研修を取り入れた。 令和2(2020)年度から令和4(2022)年度の派遣は、中止となった。				名称		単位					
					① 研修回数		回					
		② 派遣・受入期間		日								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 市内小学校5・6年生					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）							
		名称		単位								
		① 小学5・6年生児童数		人								
		② 交流を行う学校数		校								
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 北海道の大きな自然環境に触れたり、友好都市の児童と交流したりすることで、異なる文化の良さに触れ、視野を広めさせる。					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）							
		名称		単位								
		① 土別市派遣団員児童数		人								
		② 土別市受入児童数		人								
結果(上位基本事業の意図) 自主的な交流活動をしてもらう					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
		名称		単位								
		① 友好都市の交流推進が重要だと思う割合		%								
		②										
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 回		0	0	0	3	3	3	3			
	② 日		0	4	4	8	8	8	8			
(2)の 対象指標	① 人		1,215	1,191	1,191	1,136	1,128	1,228	1,258			
	② 校		0	8	8	8	8	8	8			
(3)の 成果指標	① 人		0	0	0	32	32	32	32			
	② 人		0	20	20	20	20	20	20			
(4)の結果の 成果指標	① %		0	70	70	70	70	70	70			
	②											
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	02	目	02
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
事業費(決算又は予算額)A		単位	0	4,054	25	4,061	3,449	3,449	3,449			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	4,054	25	4,061	3,449	3,449	3,449			
人件費B		千円	1,737.6	1,737.6	778.3	778.3	778.3	778.3	778.3			
正職員従事時間×人数		時間×人	480×1	480×1	215×1	215×1	215×1	215×1	215×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	33	33	0	426	426	426	426			
トータルコストA+B+C		千円	1,770.6	5,824.6	803.3	5,265.3	4,653.3	4,653.3	4,653.3			
単位あたりコスト		千円/人	1.5	4.9	0.7	4.6	4.1	3.8	3.7			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/校	0	728.1	100.4	658.2	581.7	581.7	581.7			

事務事業名	No.	407	小学生土別市交流事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	異なる文化の良さに触れ、事業を通じて交流ができているため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	友好都市提携の大きな目的である人づくりのための事業として実施するには、小学校高学年が最適と考えるため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的としている、視野を広め、相互理解と友好親善ができているため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		事前研修を含め、事業内容について、児童の意見を参考に充実させることで成果向上が見込める。
	目的達成状況	内容		達成できている。
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営	市からの補助金で実施している。
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		スポーツ課の類似事業で、サッカー派遣団・少年野球派遣団があるが、目的が違うため、統廃合は難しい。
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容		事前打合せ1回、研修会3回行っているが、事前の準備として必要であり、現状より削減することは難しい。
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市の補助金と参加者の負担金で実施している。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	学校・保護者から、引率教諭を各校1人にしてほしいとの要望がある。	対応策	引率教諭の人数について検討する。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	令和4(2022)年度の派遣事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	変更追加	実施の予定。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 幅広い世代にまでに交流の輪が広がるように、必要に応じ内容を見直しながら今後も事業を継続する。			
コストの方向性		↓ 減少			
成果の方向性		→ 維持			

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年05月24日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	426	友好都市小学生スポーツ交流事業						
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業	広域交流							
	主管課名		スポーツ課			課長名	林 幸男				
	この事務事業の開始時期		平成10(1998)年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		みよし市友好都市国内交流事業補助金交付要綱								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	友好都市国内交流の一環として、少年野球、少年サッカー、ミニバスケットボールを通じた士別市とみよし市のスポーツ交流会を開催する。毎年、みよし市から交流団（野球、サッカー）を士別市へ派遣するとともに、士別市から交流団（野球、サッカー）を受け入れている。さらに、令和4（2022）年度から女子児童の交流を促進するため、ミニバスケットを通じた交流を追加し、士別市へ派遣した。今後は、相互交流を実施する。「SDGsの取組：3,4」					スポーツを通じて、友好都市である士別市とみよし市の交流を深めるとともに、参加者の豊かな創造性と責任のある行動を体得する機会とし、青少年の健全育成を図るために必要である。					
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月に予定していた野球とサッカーの派遣事業を中止した。また、3月に野球とサッカーの受入、ミニバスケットの派遣を行うため、サッカーとミニバスケットは市内小学校を通じて参加者を募集し、野球は少年野球連絡協議会が主体となりチームを編成した。交流事業の再開により、交流を深めることができた。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	新型コロナウイルス感染症の影響により、ホームステイの実施が困難な状況であるが、感染対策を講じながら交流試合等を行った。				名称			単位			
					① 交流団派遣回数			回			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 市内小学生					名称			単位			
					① 市内小学6年生の人数			人			
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 参加者同士の相互交流を深める。					名称			単位			
					① 交流団派遣人数			人			
結果(上位基本事業の意図) 市民の自主的な交流活動が行われる。					名称			単位			
					① 友好都市の交流を重要と答えた割合			%			
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 回	0	3	1	2	2	3	3			
	② 回	0	2	2	2	3	3	3			
(2)の 対象指標	① 人	642	598	612	608	618	628	638			
	②										
(3)の 成果指標	① 人	0	48	16	32	32	48	48			
	② 人	0	32	33	32	48	48	48			
(4)の結果の 成果指標	① %	50.7	58	57.6	60	60	62	62			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	01
コスト	年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	0	5,948	1,551	4,943	6,789	6,940	6,930			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	5,948	1,551	4,943	6,789	6,940	6,930		
人件費B	千円	2,483.3	2,483.3	3,471.6	3,471.6	3,471.6	3,471.6	3,471.6			
正職員従事時間×人数	時間×人	98×7	98×7	137×7	137×7	137×7	137×7	137×7			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	69	69	565	565	565	565	565			
トータルコストA+B+C	千円	2,552.3	8,500.3	5,587.6	8,979.6	10,825.6	10,976.6	10,966.6			
単位あたりコスト	① 千円/人	4	14.2	9.1	14.8	17.5	17.5	17.2			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	426	友好都市小学生スポーツ交流事業
-------	-----	-----	-----------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	交流団の派遣・受入を行うことによって、新たな交流が、それぞれの市の文化に親しむことができている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	令和4（2022）年度から女子児童を対象にミニバスケットを通じた交流事業を追加し、交流の幅を広げている。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	みよし市、士別市の小学生代表として交流事業に参加することにより、それぞれの文化に親しみ、お互いを理解し合いながら、交流を深めることができている。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	女子児童の交流を目的として新たに始めたミニバスケットの相互交流を実施する。	
	目的達成状況	内容	令和4（2022）年度士別市交流団（サッカー・野球）の受入を実施。また、みよし市交流団（ミニバスケット）の派遣を初めて実施。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 交流団の派遣の際に交流団に補助金を交付し事業を支援する。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	スポーツを通じた交流事業のため、他が実施する事業と統廃合できない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	交流団派遣人数の検討	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	派遣に必要な費用と参加者負担は適切であると考える。

3 改革 改善 案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	種目が野球・サッカー・バスケの3種目で固定されている。	対応策	他種目の実施について検討していく。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	コロナ禍により、野球とサッカーの派遣を中止した。	変更追加	派遣、受入により、相互交流を実施する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 これまで市内各小学校を通じてサッカー、ミニバスケットの参加者を募集していたが、令和6（2024）年度から小学校クラブ活動が廃止となるため、参加者募集について検討する必要がある。 令和4（2022）年度から新たに始めたミニバスケットの交流について、派遣・受入の相互交流を実施していく。	
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		↑ 増加			